

野鳥公園のけもの道を調べよう

1. 研究の動機

昨年度の研究・・・野鳥公園の外の方の原っぱのシカのけもの道
わかったこと・・・シカは森の方から来ている。

2. はじめの疑問

- ・どんな動物が野鳥公園のどこに道を作っているのか。

3. 調べた方法

- ・野鳥公園内で、動物の足跡やフンやエサの食べあとなどをたどって、けもの道を探す。
- ・動物がよく通る所に、センサーカメラをかけて調べる。
- ・野鳥公園のけもの道地図を作る。

4. 調べた結果・分かった事

(1) フィールドワークの結果

- ・けもの道のある場所

野鳥公園の東の方や西の方に集中

西の方・・・細いけもの道が集中していた

東の方・・・太いけもの道が一本

目で見えたけものが通ったあと

イノシシの毛

シカが木の皮をかじった跡

シカのフンなどがたくさん見られた。

けもの道は崖に続いていた。(さえずり広場の木)

野鳥公園のけもの道地図



木についたイノシシの毛



シカが木の皮をかじった跡



(2) センサーカメラの結果

カメラは2台仕掛けた。(中央を1と西を2とする)

- ・映っていたのはシカ・キツネ・テン。
最も多く映っていたのはメスのシカ。
- ・オスは一頭だけ。
カメラ1の近くの崖を下っていくシカの姿が何回もとらえられた。

カメラに写ったキツネ(カメラ1)



カメラに写ったシカ(カメラ1)



地域ごとの動物の数

	カメラ1	カメラ2
メスジカ・子ジカ	6	17
オスジカ	0	1
テン	3	0
キツネ	0	2

5. 考察

- ・カメラ1のけもの道の崖を下った先は
さえずり広場 笹のしげみ
笹の葉を食べた後の枝がたくさんあった。
笹を食べに崖を下って来たのではないかな。
- ・カメラ2には20頭もの動物が映っていた。

その先には沢が流れているらしい。そのため、もしかしたらその水を飲みに行ったのではないかなと思った。

シカが笹を食べたあと



6. 感想・反省

- ・ 野鳥公園のけもの道地図をまとめることができた。
- ・ 今回の調査では、よく動物が通っていたカメラ 2 の道の続きが分からなかった。
- ・ 来年度は今回カメラをかけなかった東側のけもの道で何をしていたのか調査していきたい。
- ・ 野鳥公園の森の中は、動物の痕跡があってもすぐに落ち葉などの下に埋まってしまうので、草地とちがって、調査はとても難しかった。